

生産性向上支援訓練の活用事例

【会社概要】 製造業（工作機械の周辺装置の製造）

訓練受講のきっかけ（経緯）

工場で品質向上の重点取組みを行っていたが、これまで品質に関する体系的教育の機会がなく、検討している中でこの訓練を知った。特に工場のニーズにカスタマイズできるカリキュラムに関心を持ち、このコースではほぼ一般社員全員を対象とした訓練を要望した。

【同社の訓練ニーズ】

- 受注生産での多品種少量生産を前提とした品質管理、クレーム発生原因の分析、再発防止に役立てたい。
- 工場内の課題をテーマとした演習などにより、実践的な課題解決に向けた訓練により、一人ひとりのレベルアップに期待したい。

訓練の実施状況

訓練の概要

○令和2年7月に同一コースを2グループに分け各6時間で実施。製造のオペレーターを中心に一般社員の大半の37名受講。

○主な内容

- ①品質管理、検査の考え方
 - ・顧客満足の観点で仕事の成果を経時的なやり方で作り出す考え方の理解。
 - ・検査の役割、方法等の理解。

②QCの七つ道具

- ・目的、使い方、活用。

【演習】

- ・自職場の課題整理、分析。
（ヒストグラム、散布図など）
- ・受講者による相互検討。



受講した感想

【受講者の声】

- 悩んでいたQCの考え方、取り組み方で、今回の受講の内容が参考となり、今後の職場での課題解決に役立てそうだ。
- データ収集業務が多く、さっそく実践に活かそうと思った。
- 生産に対しての不具合の要因、対策等の詳しい手順が分かった。
- 製造現場や営業とのやり取りの中で今回の訓練内容を活用し客先に喜ばれる更に品質の良いものを作るきっかけにしたい。

【事業主の声】

- 弊社で生産性向上活動の教育を外部講師を招いて行うのは初めての試みでしたが、社員の品質管理に対する考え方、問題解決に至るまでのプロセスを学ぶ事が出来、社員の意識向上 個人のスキル向上に繋がっております。